

上野動物園 入園のご案内

◎開園時間 午前9時30分～午後5時（入園は4時まで）

◎入園料
 一般：600円、65歳以上：300円、
 中学生：200円、小学生：無料
 ※都内在住・在学の中学生と小学6年生までは無料
 ※障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は無料
 ◇65歳以上の方と中学生は年齢確認にご協力ください
 ◆団体割引（20名以上）や年間パスポートもあります

◎休園日 月曜日、年末年始（12月29日～1月1日）
 ※ただし、月曜日が祝日の場合は開園
 ※月により月曜日を閉園することもあります

◎無料開園日
 開園記念日（3月20日）
 みどりの日（5月4日）
 都民の日（10月1日）

相互割引14日まで!!
 急いで!! 急いで!!

アマゾン は 上野動物園でも

あなたを待っています!!



上野動物園 園内マップ

国立科学博物館「大アマゾン展入場券」と
 「上野動物園入園券」は相互割引実施中!!

◎「大アマゾン展」の当日券の半券、
 または前売券の半券を、上野動物園でご提示いただくと
 みなさん「団体料金 (= 2割引)」でご入園いただけます

観察するときの POINT☆

★どうやって動いているのかを見る
 ★どんな匂いがするのかを感じる

★どんな所にすんでいるのかを見る
 ★体の大きさを確認する

☆動物の一部分（耳だけ、目だけ、足だけ…など）
 を見て、それぞれの動物のすんでいる環境と照
 らし合わせて比べてみる…など、あなただけの
 観察方法を見つけてみるのも楽しいですよ!

◎上野動物園とは…

1882(明治15)年に開園した、日本最初の動物園。約400種、3000頭の動物の飼育をしている。ジャイアントパンダ、コビトカバ、オカビの「世界三大珍獣」や、日本で唯一アイアイの飼育もしている。東園には、アジアゾウ、スマトラトラ、インドライオン、ホッキョクグマなどがある。西園にはハシビロコウ、キリン、サイ、カバなどがある。そして不忍池には、カワウやペリカン、コウノトリ、オオワシなどがある。



1 オニオオハシ Toco Toucan

生息地
 ギアナ～パラグアイ
 特に低地の熱帯雨林
 食べ物
 果物、木の実、昆虫、小型のは虫類や鳥のヒナなど。
 動物園ではバナナ、リンゴ、パン、ゆで卵など。

ここに注目!!
 トレードマークは、大きく目立つ鮮やかなくちばし。このくちばしはスポンジ状になっていて見た目より軽い。



2 カピバラ Capybara

生息地
 パナマ東部～アルゼンチン
 特にアマゾン川流域の川辺
 食べ物
 水中や水辺の植物。動物園では牧草、ニンジン、リンゴ、サツマイモ、ベレッタ、食パンなど。

ここに注目!!
 足の指の間に水かきがあり、泳ぎが得意。南米先住民の言葉「Kapiwa(草原の主)」が由来といわれている。



3 タテガミオオカミ Maned Wolf

生息地
 南アメリカ中部
 食べ物
 雑食性。果実、ウサギ、ネズミ、小鳥、アルマジロなど。動物園では、馬肉、鶏頭、バナナ、アボカドなど。

ここに注目!!
 首のうしろに黒く直立した毛が生えているためタテガミの名がついた。また、実際は、オオカミの仲間ではない。足は長く草原向きである。



4 オオアリクイ Giant Anteater

生息地
 グアテマラ～アルゼンチン
 食べ物
 アリ(主にシロアリ)。動物園では、鶏の肉、牛レバーや卵をドッグフード状にしたもの。

ここに注目!!
 歯が無い代わりに、とても長い舌を持っている。この舌を器用に使って食べる。寝るときには、長い尾を体に巻きつける。



5 マタコミツオビアルマジロ Southern Three-banded Armadillo

生息地
 ホリビア、ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン
 食べ物
 アリや昆虫の幼虫、果物など。動物園ではミルワームやドッグフード、バナナ、リンゴ、サツマイモなど。

ここに注目!!
 約20種いるアルマジロの中で、たった2種しかいない、丸まれる種のひとつ。背中の甲羅は皮膚が角化したもの。寝るときは危険を感じたときにはボールのようになる。



6 マダラヤドクガエル Green and Black Poison Dart Frog

生息地
 ニカラグア南部～コロンビア。特に森林地帯の林床。
 食べ物
 アリを好み、昆虫やダニ。動物園では、コオロギの子どもや羽の無いショウジョウバエなど。

ここに注目!!
 ヤドクという名は、かつて原住民がこの毒を矢に塗って狩をしたことからきている。また、オスが卵を背負って運ぶなど子守をするカエルとしても知られている。



7 オオアナコンダ Green Anaconda

生息地
 南アメリカ
 食べ物
 哺乳類や鳥類。

ここに注目!!
 水を飲みに来る哺乳類や鳥類を食べるため、水の中で生活するのに適した顔の造り(鼻や目が上部についている)になっている。また、ウロコには光沢がある。